

2010年 雑誌前金年間購読の受付がスタートしました!

“いちばん読まれている” 歯科衛生士のための総合情報誌 歯科衛生士の皆さんをトータルにサポート!

月刊 **デンタルハイジーン** THE JOURNAL OF DENTAL HYGIENE

2010年前金年間購読料(12冊+別冊2冊) 21,546円(本体20,520円+税5%) (直送の場合は送料1,712円)
前金年間購読なら1冊ずつ買うより1,554円お得です! (1冊分以上のお得)

私たちはこう読んでいます! ご愛読の皆さんの声



堤内久枝

医療法人社団 たるみ歯科クリニック (兵庫県宝塚市)
主任歯科衛生士

創刊号から愛読しています

私と「デンタルハイジーン」との付き合いは1981年の創刊時からになります。いまと違って各職場に先輩歯科衛生士のいない現場で、新人の歯科衛生士だった私は悪戦苦闘、心の葛藤とも戦っていました。他の医療専門職には専門誌が数多くあるのに、なぜ歯科衛生士にはないのだろう? まだ、専門職として認められていないのかな? などと思っていました。

そんなとき、待望の専門誌「デンタルハイジーン」の登場! とても嬉しくて興奮したことをいまでも思い出します。それ以来、「デンタルハイジーン」とともに臨床経験を積み重ねてきたように思います。

患者さんから信頼を得られたのは「デンタルハイジーン」のおかげ!

数多くある思い出の記事のなかで、最も印象に残っているのは2008年8月号~2009年3月号に連載された内山 茂先生(埼玉県開業)の「パワーアップ! SPT-DR. ウチャヤマの「力のコントロール」講座」です。私たち歯科衛生士は、日々定期メンテナンスに来院される方々の健口管理を任されています。しかし、ただ歯石を取りクリーニングするだけでなく、患者さんの生活環境の変化、体調の変化、心理的变化を漏れなく観察し、対処および歯科医師へ報告する責務があります。

内山先生のおっしゃる「力のコントロール」「寄り添うメンテナンス」は、まさに私の目指すメンテナンスの指針となりました。特に咬合紙を用いて咬合力の強さを確認する方法、クレンジングを口腔内所見から見分ける方法などが詳しく解説されていて、すぐに臨床で実践することができました。患者さんのストレスによる口腔内の変化を見つけてアドバイスすることによって患者さんに近づき、心のケアにも踏み込むことができるようになり、「マイハイジニスト」と指名してくださる方々の信頼を、よりいっそう得られたと思います。

心のアンテナをいっぱい張って…

「デンタルハイジーン」は臨床面だけでなく、歯科衛生士として働いていくうえでのメンタル面でも私のバイブルとなっています。もう10年以上も前になりますが、歯科衛生士として復職した直後、歯科業界の大きな変化についていけず、またプライベートでも落ち込んでいました。そんなとき、前を見つめて歩き出す勇気を与えてくれたのが、当時連載中の上間京子さん(現在フリーランスでご活躍中)の「心の扉をあけて」というエッセイでした。いまでもその記事を読むたびに目頭が熱くなります。

患者さんから信頼される「マイハイジニスト」になるためには、技術、知識だけでなく人間性を磨くことが重要だと思っています。温かい言葉かけ、思いやり、患者さんに寄り添う治療、ケアのヒントが「デンタルハイジーン」のなかにはたくさん盛り込まれていると思います。ぜひ多くの歯科衛生士の皆さんに、この雑誌を読んでもらいたいと思います。心のアンテナをいっぱい張って、あなたの求めるエッセンスを見つけてください。

